



秋山みつあき県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

企業立地促進に県の支援策を！

館山工業団地の有効活用求め

館山市特集

昨年12月県議会で、県議1期目ながら、早くも6度目の一般質問に登壇した館山市選出の秋山光章(あきやま・みつあき)県議は、地元・館山工業団地への企業立地促進策など東京湾アクアラインを活用した地域振興策について取り上げました。ほかにも、農商工連携による地域活性化の促進、有害鳥獣駆除によるイノシシ肉の有効活用、看護師修学資金の活用状況、海岸に流れ着く漂着ゴミ対策など、地域を代表する立場から、森田知事ら県側の考えを正面からいただきました。秋山県議の主な質疑を1、2面で特集します。



森田知事を前に地域振興策を語る秋山光章県議

12月県議会一般質問

秋山議員
東京湾アクアラインの料金値下げにより、房総半島の南端に位置する地元館山市にとつてネックであった半島性の解消につながる快挙と喜んでるところで、そこで次になすべきことは何か。地域が持続的に自立していくためには、産業を興すことが重要です。新たな企業が立地し、地元の雇用が創出されることにより、地域が元気になる、地域に残る若者、Uターンしてくる若者が増えていくと信じています。

若い世代の働く場を

秋山議員 私は、平成19年12月議会でも、国の新たな制度である企業立地促進法を活用すべきだと主張しました。昨年8月には同法の改正が行われ、企業支援の仕組みも大幅に拡充されたと聞いています。館山工業団地の用地を有効に活用し、若い世代の働く場を創出すべきだと考えますが、館山工業団地について、今後、どのように取り扱っていくのか。

企業庁長 立地企業の希望に応じて造成を行うオーダーメイド方式を採用した館山工業団地は、企業の立地動向や事業採算性などを勘案すると、造成すること

は、開発行為の協議、環境調査、文化財調査、実施設計、造成工事等があると考えられますが、概ね6年程度かかる見込みです。

秋山みつあき・PROFILE

- | 略歴 | 現職 |
|-------------------------|---|
| ●昭和21年9月 館山市生まれ | ●県議会 農林水産常任委員長／観光立県推進議員連盟／建設問題研究議員連盟／議会ブラジル友好議員連盟会員 |
| ●昭和63年4月 館山市立第三中学校PTA会長 | ●千葉県 農政審議会委員 |
| ●平成3年5月 館山市議会議員初当選(4期) | ●自民党県連 政務調査会副会長／組織委員会委員／スポーツ振興議員連盟委員／医療問題議員研究会委員／介護問題対策議員連盟 |
| ●平成15年5月 館山市議会議員長 | |
| ●平成19年4月 県議会議員初当選 | |

地域の声を県政へ届けます

●県政や館山市のご相談、ご意見を聞かせてください

秋山みつあき 県議事務所

〒294-0045 館山市北条2570-11 SKビル101
TEL.0470-23-5252
FAX.0470-23-5251

館山市特集 12月県議会一般質問

県政に一直線 秋山みつあき 光章 県議

「農商工連携」で現状打開

売れる新商品開発を支援

秋山議員 今、世界は深刻な経済危機の渦中にあり、地域経済にとっても厳しい状況が続いています。農林水産業の現状に目を向ければ、担い手の減少や高齢化、農産物の価格低迷や耕作放棄地の増加といった問題が山積し、活力は著しく低下しています。

このような状況を打開していくためには、いわゆる「農商工連携」を強化して互いの強みを持ち寄って、売れる新商品や新サービスの開発・生産・販売等に共同して取り組むことが重要です。

そこで、農産物の付加価値を高めるために、どのような取り組みを行ってきたのか。

森田知事 近年、農産物の価格低迷が続く中で、生産者の所得向上や地域経済の活性化を図るためには、農産物の付加価値を高める取り組みが重要です。

このため、県は認定農業者や農業生産法人などの担い手集団や農村地域における女性起業家などに対し①商品開発や市場調査に関する

研修会等の開催②米粉などを活用した農産加工品の開発や製造・販売に必要な施設の整備③量販店などとのマッチングを進める商談会

の開催などの取り組みを支援してきたところです。この結果、地域特産の大豆を活用した豆乳やドライ納豆、サツマイモのペースト

を利用した羊羹、米粉を使ったロールケーキなど、新たな特産品が開発され、販路拡大と所得の向上に結びついているところです。



自席から再質問に立つ秋山県議

「基金」支援で7件を採択

秋山議員 本年度から始まった「ちば農商工連携事業支援基金」による支援状況はどうか。

商工労働部長 この基金事業は、意欲的な中小企業者と農林漁業者が共同して行う農商工連携事業を総合

的に支援するため、農林水産物を活用した新商品や新サービスの開発や販路開拓、専門家の派遣や商談会の企画・開催などへの取り組みを助成対象にしています。21年度は、10月に事業を公募し、これまでに7件の

取り組みを採択しています。具体的な事例としては、南房総市のスモモを活用した新デザートの開発や、君津市小糸で古くから栽培されているエダマメを活用した加工食品の開発などがあります。

捕獲イノシシ肉を食用に

秋山議員 安房地域では、イノシシによる水稻や野菜への被害が急増しています。このイノシシを食用に活用することも地域の活性化につながるのではないかと思います。昨年度6千頭あまり捕獲されたイノシシのうち、処理加工施設で処理されたのはわずか160頭弱であり、大部分は自家利用や埋められて処理されています。

県は、捕獲したイノシシの肉の活用をどのように考えているのか。

農林水産部長 農作物に深刻な被害を及ぼしているイノシシを地域資源として食肉で活用することは、地域の活性化につながるとともに、被害軽減に役立つと考えています。

そこで、衛生的なイノシシ肉が提供できるよう「千葉県イノシシ肉に係る衛生管理ガイドライン」を作成し、肉質やソーセージ、ハ

ムなどへの加工適性について研究を進めるなど、今後、も利用拡大へ向け地域の取り組みに対して支援してまいります。

看護師数ワースト3位

秋山議員 本県における看護師の就業状況は、人口10万人当たりの看護師数が480人と全国ワースト3位で、看護師確保は緊急の課題です。県による看護師生に対する修学資金の貸付状況はどうか。また、貸付を受けた学生の県内就職状況はどうか。

健康福祉部長 看護学生に対する修学資金は、養成所卒業後、県内の医療機関で5年間看護業務に従事した場合に、その返還を免除することで、看護志望者を支援し看護師の確保を図るものです。

今年度の修学資金利用者は、新規貸付者147人を含め、426人で貸付総額は8千442万円となっています。なお、追加貸付の希望が多くあったため、現在、追加募集を行っているところです。

漂着ゴミ対策

秋山議員 海岸への漂着ゴミの処理を県はどのように考えているのか。

県土整備部長 洪水や台風による大量のゴミや流竹木等が海岸保全施設の機能を阻害するなど管理上支障となる場合は、管理者である県が地元市町村の協力のもと、回収・処分を行っています。また「勝浦・御宿地域のクリーンキャンペーン」を21年8月に実施するなど、地元市町村やNPO等と協働で実施し、海岸清掃やゴミ拾い等を行っています。



漁業調査船千葉丸の竣工式で 漁業振興への決意を語る秋山県議